

排出ガス不正事案を受けたディーゼル乗用車等検査方法見直し検討会（第2回）
議事要旨

1. 日時：平成28年3月3日（木）16時00分～17時30分

2. 場所：中央合同庁舎3号館 11階特別会議室

3. 出席者：

委員：大聖委員長、飯田委員、石井委員、草鹿委員、佐竹委員、塩路委員、土屋委員、
山崎委員

国土交通省：和辻次長、西本環境政策課長、倉谷地球温暖化対策室長他

環境省：高橋水・大気環境局長、早水大臣官房審議官、田路環境管理技術室長他

4. 議事：

(1) 国内販売された車両における不正ソフトの有無の検証等について

① 対象車両及び検証方法について

② 排出ガス路上走行試験等結果取りまとめ（国産自動車）について

(2) 欧米における検査方法見直しの動向について

(3) 今後の検査方法見直しの方針について

5. 議事要旨：

会議は公開で行われた。議事(1)～(3)について事務局から説明を行い、国産メーカー4社の6台の自動車について、不正ソフトの存在が確認されなかったことが了承された。また、今後の検査方法見直しの方針に関し資料3-1、3-2の内容について審議が行われ、了承された。なお、主な意見等は以下のとおり。

議事(1) 国内販売された車両における不正ソフトの有無の検証等について

(② 排出ガス路上走行試験等結果取りまとめ（国産自動車）について)

・ディーゼル車の排出ガス対策では、EGR（排気ガス再循環装置）のデポジット抑制対策や酸化触媒のHCの凝集による白煙抑制対策が技術的な課題となっている。

議事(2) 欧米における検査方法見直しの動向について

・日本にRDE（実路走行試験）規制を導入する場合は、低温時の試験条件等で排出ガス量が増加する場合の実路走行データをどのように扱うか等を検討すべき。

以上